

市民の切実な声を 政策に

急激な物価高、格差拡大、社会保障の切り下げで市民の生活は苦しさを増しています。

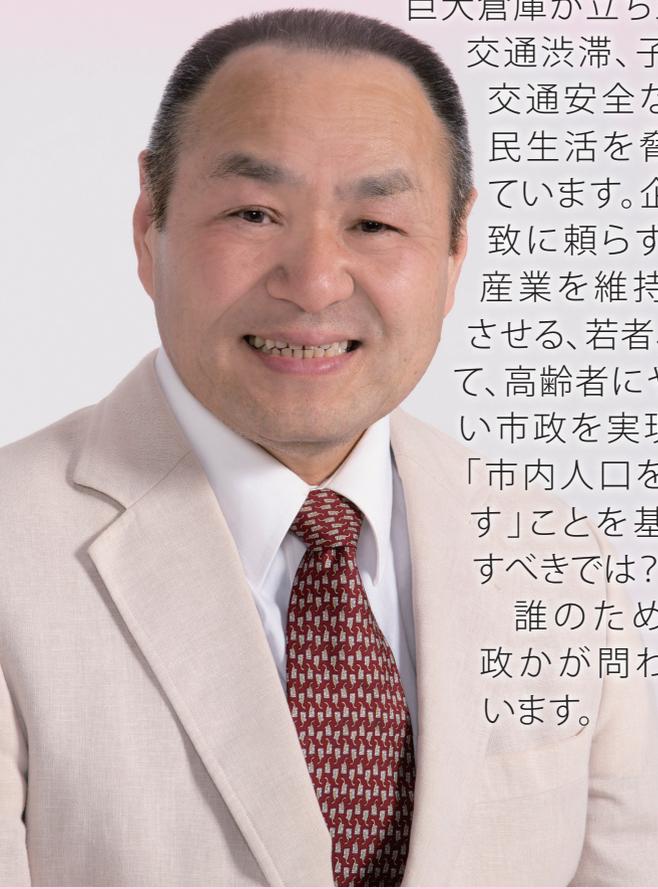
こんなときこそ「市民のいのちとくらしを守る」綾瀬市政への転換が求められています。

厚木基地の騒音被害等に市民は今でも悩まされています。古塩市長は今年から「市民駅伝」を厚木基地内で開催。「厚木基地との交流」がなぜ、いま必要なのですか？

スマートIC効果で、「交流人口を増やす」のが綾瀬市の基本政策ですが、利便性の反面で

巨大倉庫が立ち並び、交通渋滞、子供の交通安全など市民生活を脅かしています。企業誘致に頼らず市内産業を維持発展させる、若者、子育て、高齢者にやさしい市政を実現して「市内人口を増やす」ことを基本にすべきでは？

誰のための市政かが問われています。



こしかわ好昭プロフィールと活動

- 1956年 千葉県に農家の長男として生まれる
- 1976年 立命館大学二部文学部入学
- 2004年～市内の食品工場、軽度知的障がい者のグループホームで働く
- 2011年 綾瀬市議会議員（1期目）
- 2015年 綾瀬市議会議員（2期目）

都市計画道路「寺尾上土棚線」北伸に地域の人々とともに反対（2011年）



◀ 農地潰しの落合吉岡工業用地開発（物流倉庫）を、地域の人々とともに中止させた

早川中央土地区画整理事業で撤退をよぎなくされた中小企業主の声、住宅地に隣接する巨大物流倉庫の建設での住民の不安、要望の声をきき、市に対応を求める。



「仲良し小道」道路補修、ごみ投棄、高齢者の「足」問題、失業対策等で市民生活をサポート

現在の役職

第五次厚木基地爆音訴訟原告団綾瀬支部長
厚木基地爆音防止期成同盟綾瀬支部副支部長
自主・平和・民主 広範な国民連合・神奈川世話人のための

連絡先

〒252-1137 寺尾台 1-5-22
電話：090-4419-5091
Fax：0467-76-2128
E-Mail：y-koshikawa@hotmail.co.jp



公式HP



facebook

学校給食を無償に！
子育て、若者、高齢者に
やさしい市政の実現を！



前綾瀬市議会議員

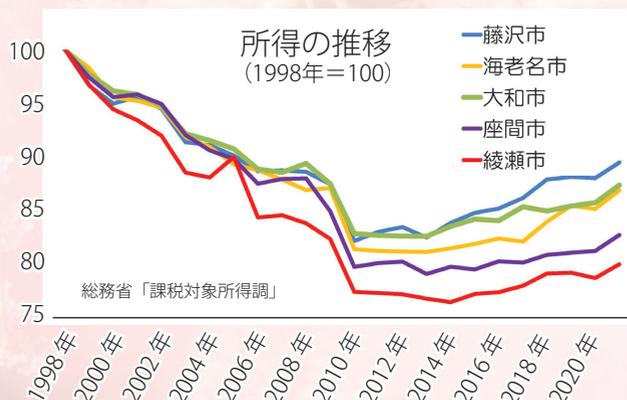
こしかわ好昭 よしあき



市民とともに「いのち」「暮らし」をまもる市政に

綾瀬市の 現状と課題

綾瀬市は、周辺の海老名市、藤沢市、大和市、座間市と比べて人口は減少（他は増加）、特に働く世代の女性人口が減少。また所得の落ち込みは他都市に比べていちじるしい（グラフ）。



その理由の一つは厚木基地が市域の2割を占め、鉄道駅が一つもなく、市の発展が阻害されていること。そして、県内有数の工業・中小企業を時代の変化に合わせて維持・発展させられず、また介護・福祉関係などでも安定した雇用の場が限られているから。やがて撤退もする大企業の誘致依存ではなく、市内の資源をいかして働く場をつくり、青年と子育て世代の所得安定と育児、教育環境の整備を最優先にしなければなりません。

よしあき こしかわ好昭の政策

1 「子育て予算」を倍にします

小中学校給食費無償化には市予算3億7000万円が必要。去年は全国の自治体の



3割が実施。可能です。安心・安全の地元食材使用を徹底

2 高齢者、障がい者 福祉を充実

高齢者の買い物、通院の移動支援のために路線バス、タクシー料金の補助
低賃金の介護従事者の報酬を市で独自支援、事業所・施設の維持・新設、介護の質向上に

3 新規就農者支援で農地を守る

農地の耕作が困難となった貸し手と、新規就農意欲のある借り手の若者を市が責任をもってマッチング
肥料、飼料、燃料高騰に市として独自補填

4 モノづくり産業の支援

原材料、電気代等コスト高騰、経営安定支援のため実態調査から、蓄積をいかし技術革新に対応した支援

5 米軍厚木基地の 早期返還

いのち、安全を守り、市内経済活性化のためにも時期を区切り返還を求める。厚木基地防音工事対象地域の縮小見直しは中止

戦争は 絶対におこさせない

中国とは平和、友好を
軍拡予算、5年間の増加分43兆円をやめ、「暮らしの予算」にふりむける
大学授業料無償化 1.8兆円
小中学校給食無償化 4.39兆円
農家の個別所得補償 3兆円

私はこれまで綾瀬市議会議員として、超党派の地方議員が集まる「全国地方議員交流研修会」に毎年参加。仲間と対省庁行動を共にしてきました。

第15回全国地方議員交流研

